

全建発第28～208号
平成28年11月7日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第630回建設技術講習会の開催について

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図るとともに、建設技術関係者の連携・交流をはかり、建設関係施策の円滑な推進と良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction(建設現場の生産性革命)など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第630回建設技術講習会では、品確法に基づく積算の最新事情や今後の動向について、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点などについて、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点について、工事施工における合理化の取り組み及び現場での取り組み事例について、工事事故と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策について、i-Construction(建設現場の生産性向上)について最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和
印省略

第630回建設技術講習会開催について

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成29年1月18日(水)～20日(金)、横浜市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、品確法に基づく積算の最新事情や今後の動向、土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点など、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、工事施工における合理化の取り組み及び現場での取り組み事例、工事事務と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策、i-Construction(建設生産性革命)について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。なお、本講習会は神奈川県・横浜市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般(非会員)	18,400円	会員	30歳以上・特別会員・賛助会員	13,400円
			若手(30歳未満)	2,000円

<地元割引(神奈川県内の官公庁職員及び特別会員)>

一般(非会員)	国・県・政令市	13,400円	会員	国・県・政令市・特別会員	2,000円
	市町村	2,000円		市町村	0円
	学生	0円		—	—

※30歳未満[全国]及び地元[神奈川県内の国・県・政令市に勤務、特別会員]は割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

※賛助会員名簿は、協会HP(<http://www.zenken.com/>)で確認いただけます

③現場研修料：7,900円[うち昼食代1,200円]

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金[銀行振込の控え]を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「630」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年12月22日(木)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年1月6日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年1月13日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、本会実施の「全建CPD(継続教育)制度」の認定講習会として単位が取得できます。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第630回建設技術講習会日程

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

～今後の土木工事、建築工事における基準の改正等、積算の動向や安全管理に関する具体の取り組みについて学ぶ～

- ・品確法に基づく積算の最新事情や今後の動向について
- ・土木及び建築工事積算基準や土木工事標準歩掛の適用上の留意点などについて
- ・会計検査にみる設計、積算、施工における留意点について
- ・工事施工における合理化の取り組み及び現場での取り組み事例について
- ・工事事務と安全対策、ヒューマンエラーの原因とその対策について
- ・i-Construction(建設現場の生産性向上)について

会場 …… 横浜市開港記念会館
〒231-0005 横浜市中区本町1-6 TEL045-201-0708(代)



(1日目) 開場11:40		平成29年1月18日(水)		(敬称略)
12:40	あいさつ	神奈川県知事	黒岩 祐治	
13:00		横浜市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	林 文子 秋山 幸男	
13:00	【全建創立70周年記念 基調講演】 今後の建設行政と公務員技術者の役割	国土交通省 技監	森 昌文	
14:00				
14:10	国土交通省における積算に関する最近の動向について	国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官	榎谷 有吾	
15:10				
15:20	公共工事と会計検査 ～設計、積算、施工における留意点～	元会計検査院農林水産検査第4課長	芳賀 昭彦	
16:20				
16:30	ヒューマンエラーの原因と対策	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所運航・物流系 運航解析技術研究グループ 主任研究員	吉村 健志	
17:30				
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		LUNCH AVENUE 横浜情報文化センター1F TEL045-641-2666 (みなとみらい線日本大通駅徒歩1分)		
(2日目) 開場 9:00		1月19日(木)		(敬称略)
9:40	発注者として留意すべき安全対策・事故防止対策について	国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室 課長補佐	堤 英彰	
10:40				
10:50	公共建築の円滑施工確保対策について	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室 営繕積算高度化対策官	田中 宏明	
11:50				
13:00	【地域事業の紹介①】 東京2020オリンピック・セーリング競技開催に 向けた湘南港の取り組みについて	神奈川県県土整備局河川下水道部砂防海岸課 副技幹	吉岡 敦	
13:30				
13:30	【地域事業の紹介②】 宮ヶ瀬ダムの概要について	国土交通省関東地方整備局 相模川水系広域ダム管理事務所 広域水管理課長	小川 浩	
14:00				
14:10	土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の注意点について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室 課長補佐	姫野 芳範	
15:10				
15:20	ICT土工における監督・検査の実施について	国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官	山下 眞治	
16:20				
16:20	閉会のあいさつ	神奈川県建設技術協会 会長 (神奈川県県土整備局技監兼道路部長)	志村 知昭	
(3日目) 集合 7:50～		1月20日(金) 【現場研修】		

大棧橋駐車場(8:20)出発

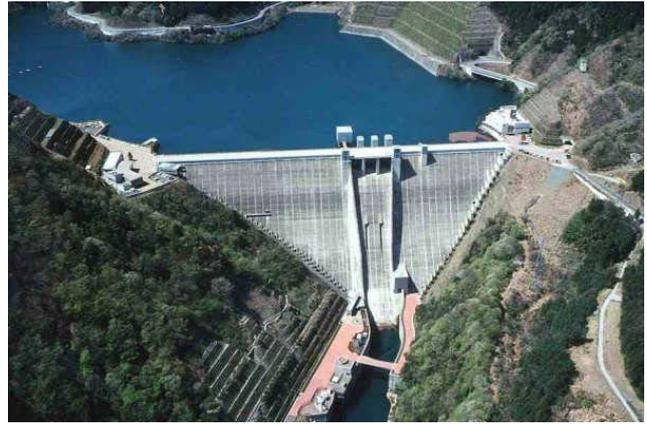
- 宮ヶ瀬ダム(下車説明) → 新東名高速道路「厚木南IC」建設事業(下車説明)
- 昼食(藤沢市内) → 東京2020オリンピック セーリング競技会場「湘南港」整備事業(下車説明)
- JR新横浜駅(16:20) / JR横浜駅(16:50) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第630回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 宮ヶ瀬ダム 相模原市緑区・愛甲郡愛川町・愛甲郡清川村

- ・ダムの目的は中津川・相模川中下流部の洪水調節、沿岸農地への慣行水利権分の農業用水補給・中津川における河川生態系保全のための河川維持放流を目的とした不特定利水、横浜市・川崎市・相模原市等神奈川県全体の2/3の地域、県人口の90%への上水道供給、直下流に併設された神奈川県企業庁の愛川第一発電所による最大出力24,000kWの水力発電
- ・ダム建設によって生まれた人造湖の宮ヶ瀬湖は、神奈川県に欠かせない水源地のほか、恵まれた自然環境と、首都圏から日帰り圏内にあるというロケーションから、自然公園としての機能をもった観光スポットとして賑わっている
- ・宮ヶ瀬ダムには「宮ヶ瀬湖憲章」というものがあります。湖の水をみんなで大切にすることや、美しい周辺の自然環境をみんなで守ることなどをまとめたものです。この中で、自然を大切に、守り、育て、次の世代に伝えていくことを宣言
- ・ダム型式：重力式コンクリートダム・堤高：156m・堤頂長：約400m・堤体積：約200万m³
(視察キーワード：治水・利水、災害対策、地域活性化等)



2. 新東名高速道路「厚木南IC」建設事業 厚木市戸田

- ・新東名高速道路は、神奈川県海老名市から静岡県を経由し愛知県豊田市へ至る高速道路
- ・東京・名古屋・大阪を結ぶ大動脈として期待
- ・現在の東名高速道路より山側を走るルートで、交通の分散が図られるため交通渋滞の渋滞緩和、利便性の向上が図られる
- ・2016年現在、静岡県御殿場JCTから愛知県豊田東JCTまで開通
- ・新東名高速道路の起点は首都圏中央連絡自動車道と接続する神奈川県海老名南JCT
- ・一部区間、海老名南JCTから厚木南ICは2017年度に開通予定
- ・総事業費は約7兆円、全線開通時期は2020年度を予定
(視察キーワード：交通ネットワーク、ストック効果、防災対策等)



3. 東京2020オリンピック セーリング競技会場「湘南港」整備事業 藤沢市江の島

- ・この施設は、1964年大会時にセーリング会場として使用するため、日本で初めての競技用ハーバーとして整備
- ・1年を通じて気候が温和な地域であるため、数々のヨットレースが開催される国内有数の施設
- ・オリンピックの開催とそれに向けた取り組みを通じて、セーリング競技の魅力伝え、セーリングの普及と江の島におけるセーリング文化を発展
(視察キーワード：東京オリンピック2020)



第630回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には横浜市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって			当日及び 無連絡不泊
5日前まで	4～2日前	1日前(前日)	
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年1月17日(火), 18日(水), 19日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ルートイン横浜馬車道	横浜市中区弁天通4-53-1 Tel.045-227-8911	シングル	30名	8,200円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第630回建設技術講習会申込書

(工事積算(土木・建築)における動向と工事施工における合理化、安全対策)

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込			
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい			
								1月 17日	18日	19日	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)							↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
現場研修料 名×7,900円＝ 円											
計 円											

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第630回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成29年1月18日(水) 18:00～19:30(予定)
(第630回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：LANCHAN AVENUE 横浜情報文化センター1F(予定)
※開催時間が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--|----------|
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官 | 榎谷 有吾 講師 |
| ・元会計検査院農林水産検査第4課長 | 芳賀 昭彦 講師 |
| ・(国研)海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究運航・物流系
運航解析技術研究グループ 主任研究員 | 吉村 健志 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com